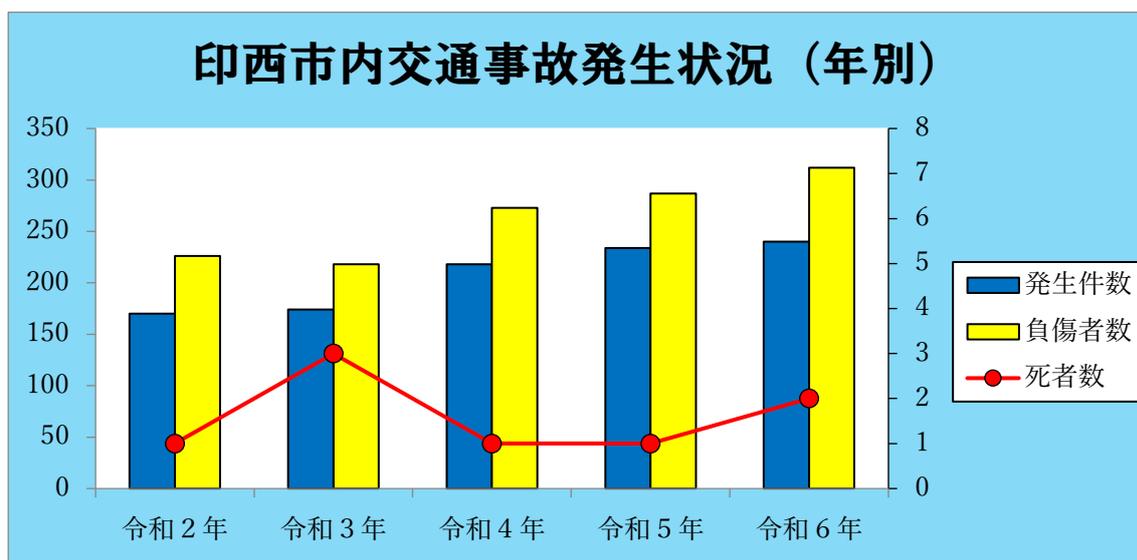


道路交通事故のすう勢

ア 交通事故の現状

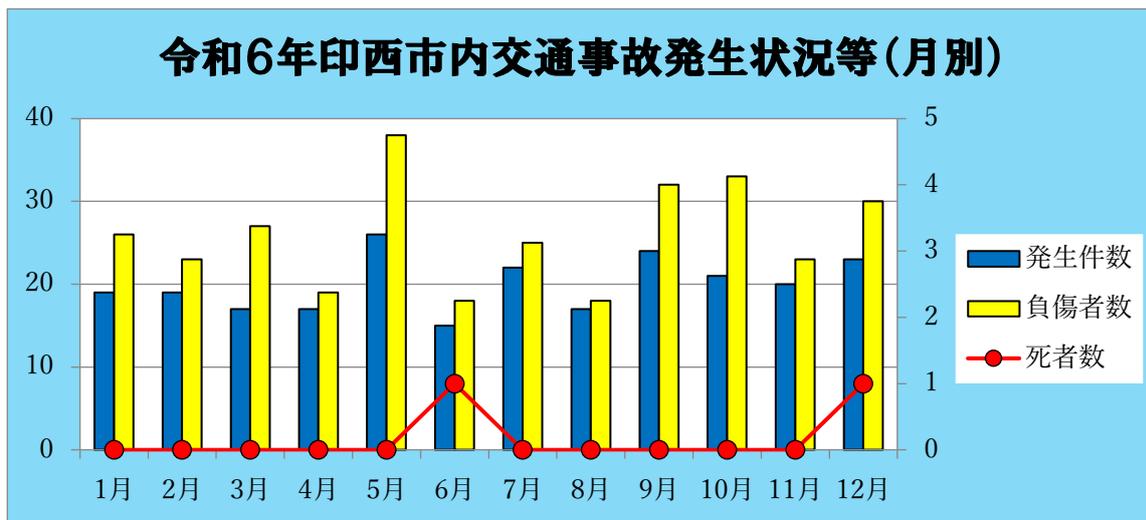
市内における過去5年の交通人身事故の状況について、令和2年以降、増加傾向となっています。令和6年は、発生件数240件（前年比7件の増）、負傷者数312人（前年比25人の増）、死者数2人（前年比1人の増）と前年からすべての項目が増加しました。

【過去5年の交通事故発生状況】



年	R2	R3	R4	R5	R6
発生件数	170	174	218	233	240
負傷者数	226	218	273	287	312
死者数	1	3	1	1	2

【交通事故の月別発生状況】

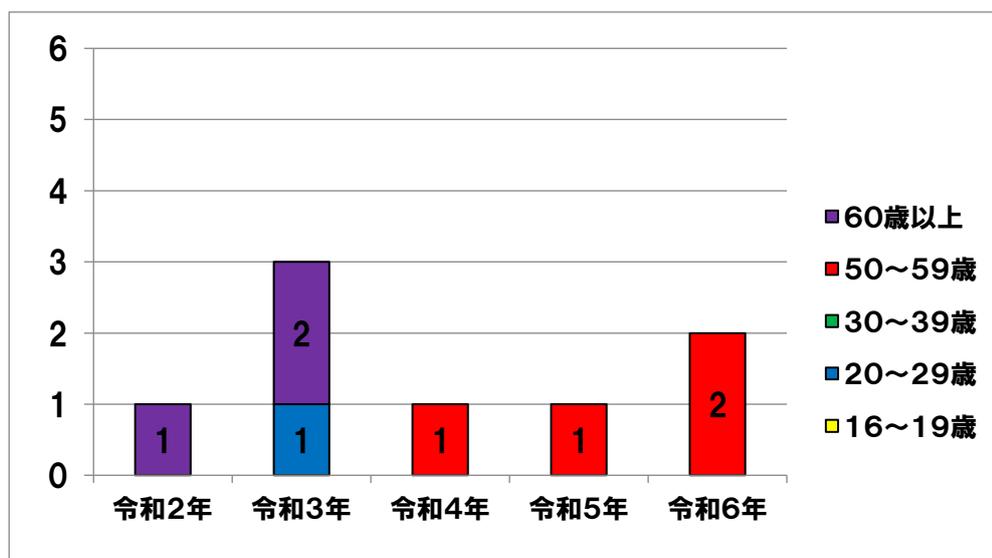


月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発生件数	19	19	17	17	26	15	22	17	24	21	20	23
負傷者数	26	23	27	19	38	18	25	18	32	33	23	30
死者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

【特徴】 月別の発生状況では、年間平均で約20件の交通事故が発生しました。その中で、6月については、発生件数、負傷者数、死者数ともに最も少ない数値になっております。

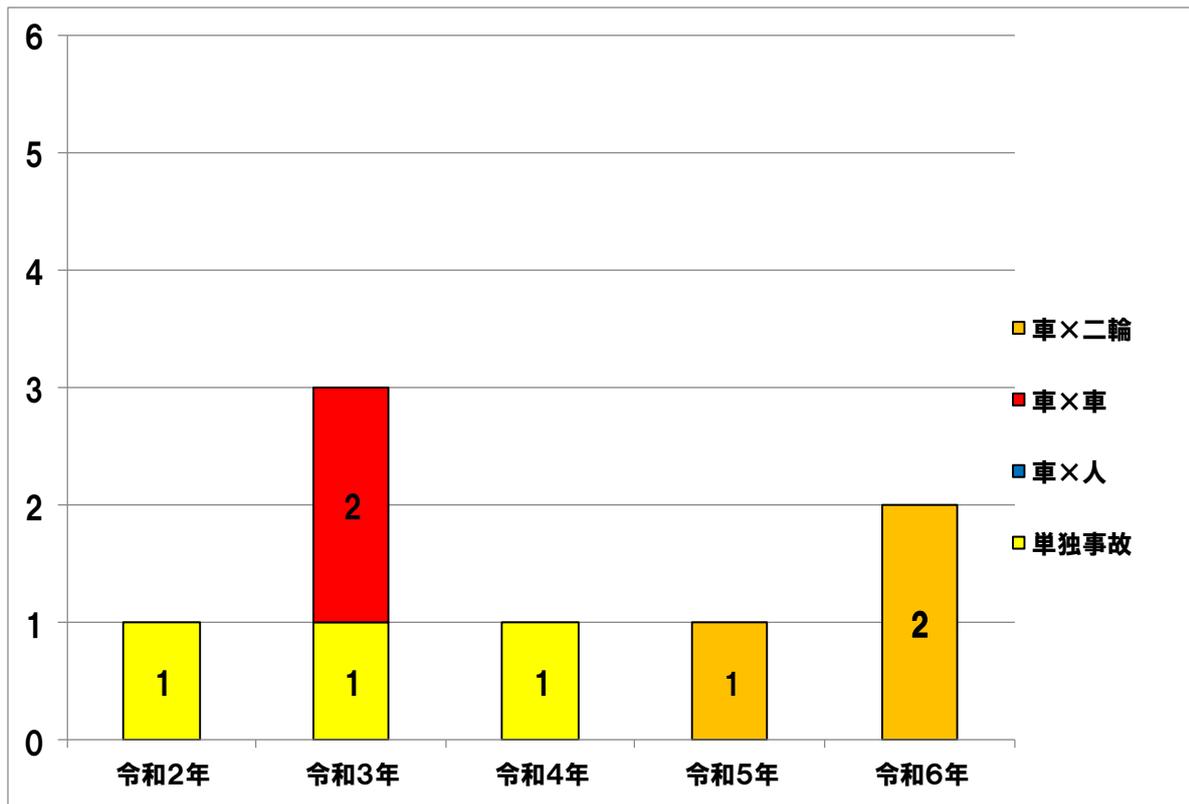
イ 交通死亡事故の特徴(過去5年)

a 原因者年齢層別発生状況



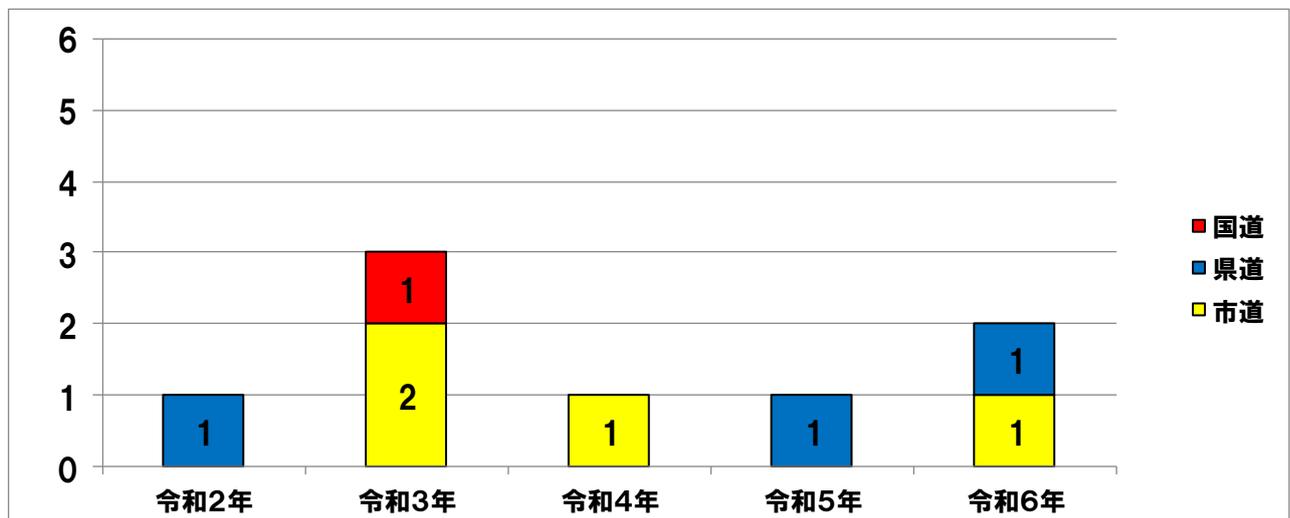
【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、直近3年で50代の死亡事故が続いています。

b 類型別発生状況



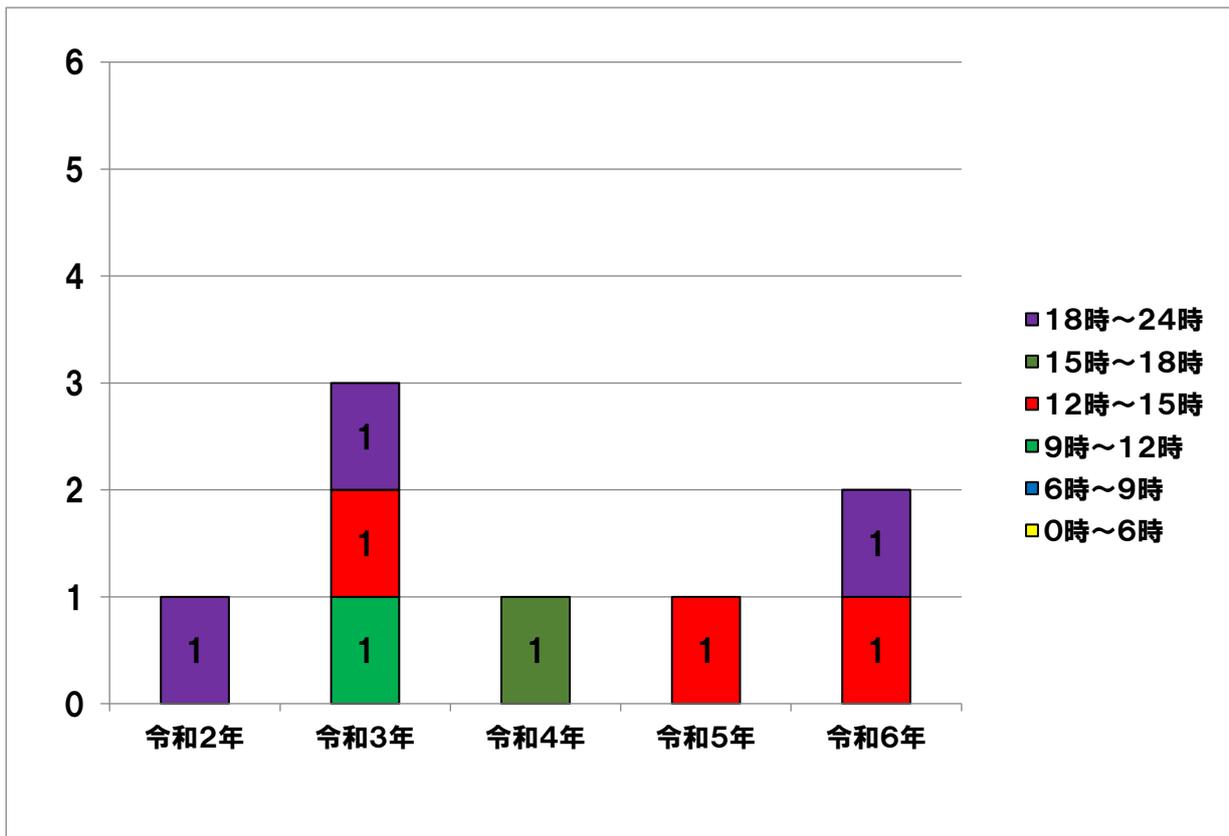
【特徴】 類型別の発生状況では、令和5年から車対二輪の事故によるものとなっています。

c 路線別発生状況



【特徴】 路線別の発生状況では、県道、市道での発生件数が多い傾向となっています。

d 時間帯発生状況



【特徴】 過去5年までは12時～15時、18時～24時の午後の時間帯に事故が発生しています。

ウ 交通人身事故の特徴

a 原因者年齢層別発生状況

年/年齢	0～12 歳	13～15 歳	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65歳 以上	不明
令和2年	1	1	4	18	22	29	35	12	48	0
令和3年	0	1	0	29	27	28	26	11	47	5
令和4年	1	0	3	38	24	28	28	17	67	12
令和5年	0	1	1	27	28	42	39	12	71	12
令和6年	0	0	2	21	27	31	49	16	83	11
合計	2	3	10	133	128	158	177	68	316	40

※「a 原因者年齢層別発生状況」は、第一当事者の数

※「不明」はひき逃げ

【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が316件で最も多く、次いで50代の177件、40代の158件の順となっています。

b 類型別発生状況

《車に起因する事故》

	車×車	車×二輪	車×自転車	車×歩行者	車×軽車両
令和2年	102	13	22	26	0
令和3年	105	18	25	19	0
令和4年	108	15	52	35	0
令和5年	126	20	53	29	0
令和6年	132	16	46	30	0
合計	573	82	198	139	0

※軽車両は、自転車を除く

《二輪に起因する事故》

	二輪×二輪	二輪×自転車	二輪×歩行者
令和2年	0	0	0
令和3年	1	0	0
令和4年	0	2	0
令和5年	0	1	1
令和6年	1	0	0
合計	2	3	1

《その他》

	自転車×自転車	自転車×歩行者	その他単独
令和2年	1	4	2
令和3年	1	2	3
令和4年	3	1	2
令和5年	1	0	2
令和6年	0	2	13
合計	6	9	22

【特徴】 類型別発生状況の車に起因する事故においては、「車対車」が573件で全体の約55%と最も多く、次いで、「車対自転車」の198件、「車対歩行者」の139件の順になっています。令和6年は単独事故が多く発生しました。

c 路線別発生状況

年/路線	県道								
	千葉 竜ヶ崎線	柏 印西線	市川 印西線	船橋 印西線	千葉臼井 印西線	佐倉 印西線	印西 印旛線	千葉NT 北環状線	千葉NT 南環状線
令和2年	14	0	3	3	7	6	2	3	2
令和3年	16	1	2	3	4	3	2	6	4
令和4年	14	0	5	5	6	7	0	11	7
令和5年	15	3	5	4	10	7	3	5	6
令和6年	11	1	3	4	16	11	2	8	8
合計	70	5	18	19	43	34	9	33	27

年/路線	県道		市道	国道		その他
	鎌ヶ谷 本笠線	八千代 宗像線		356号	464号	
令和2年	0	2	71	7	37	13
令和3年	1	0	57	17	44	14
令和4年	0	2	82	14	48	17
令和5年	0	0	88	19	40	28
令和6年	4	1	92	11	48	20
合計	5	5	390	68	217	92

【特徴】 路線別発生状況では、市道が390件で最も多く、次いで国道の285件、県道の268件、その他で92件となっている。
また、国道別、県道別では、国道464号で217件、県道千葉竜ヶ崎線で70件の事故が発生しています。

d 時間別発生状況

年/時間	0~2 時	2~4 時	4~6 時	6~8 時	8~10 時	10~12 時	12~14 時	14~16 時	16~18 時	18~20 時	20~22 時	22~ 24時
令和2年	2	1	3	29	20	19	20	28	26	10	11	1
令和3年	2	0	0	12	25	29	19	22	28	20	14	3
令和4年	4	1	4	25	26	28	28	29	41	24	7	1
令和5年	1	2	2	20	31	28	18	52	41	24	10	4
令和6年	2	2	3	19	30	36	23	39	38	30	13	5
合計	11	6	12	105	132	140	108	170	174	108	55	14

【特徴】 時間別発生状況では、「16時~18時」の時間帯に174件と最も多く、次いで「14時~16時」の170件、「10時~12時」の140件の順になっています。